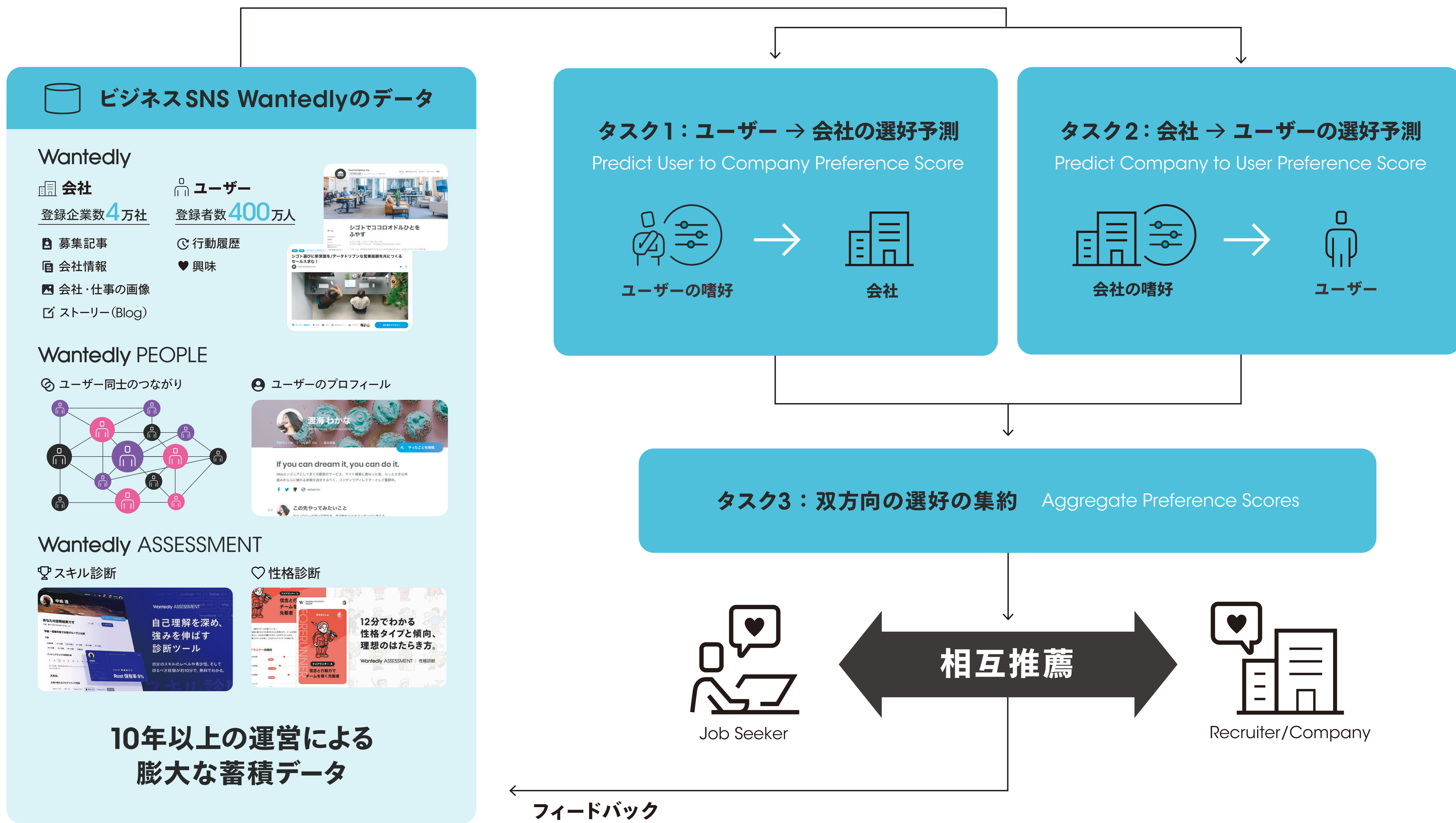


人と会社の  
「両思い」を  
実現する

# 会社訪問アプリ Wantedly Visitにおける 相互推薦システムについて

多種多様なデータソースから、ユーザーと会社の本質的な嗜好を捉える

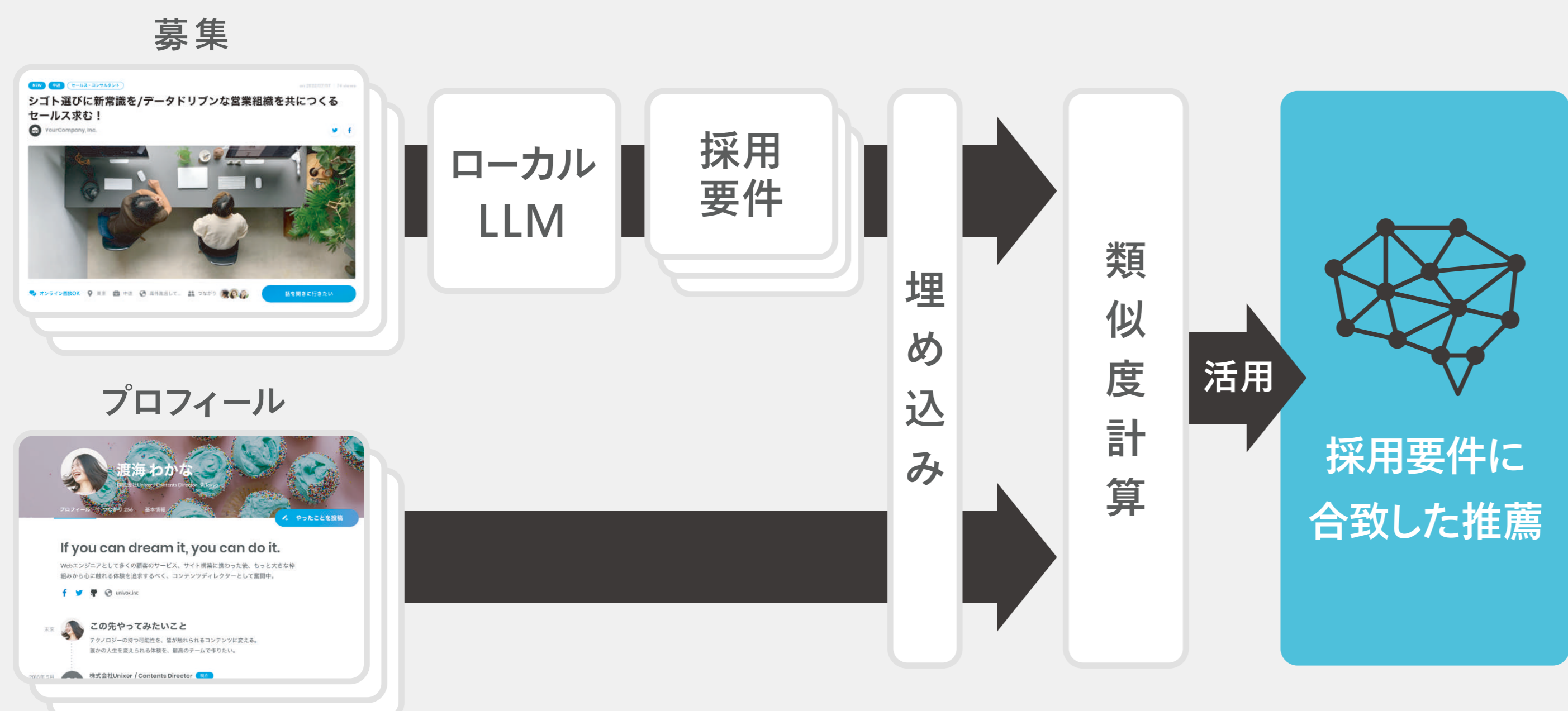


## CASE 01 LLMによる募集情報を活用した推薦

Wantedlyにはユーザーのプロフィールや企業の募集情報といった自然言語データが大量に蓄積されているが、自由記述であるため活用が難しかった。そこで、LLMを用いて募集情報から採用要件を構造化し、ユーザープロフィールとの類似度を算出することで、企業が採用要件に合致するユーザーに出会いやすい推薦体験を実現した。



JSAI2025  
発表資料



## CASE 02 マッチング推薦におけるオフ方策評価・学習

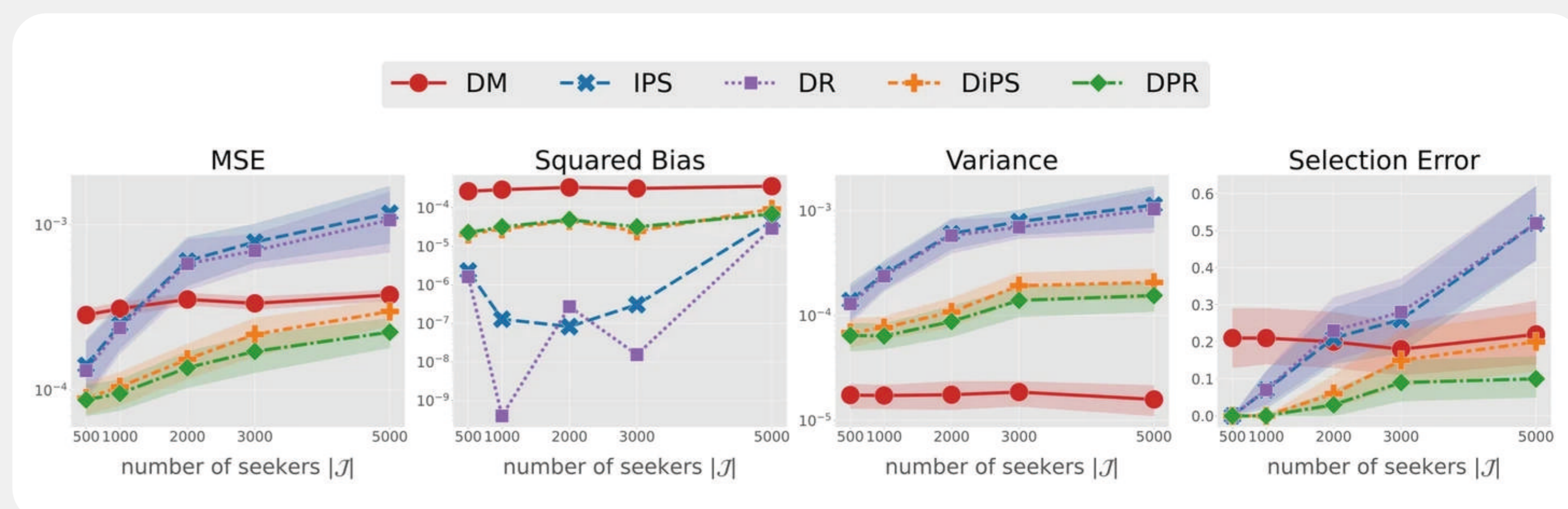
推薦システム全般においてオンラインA/Bテストはコストやリスクが高く、過去ログのみで新しい方策の性能を評価できるオフ方策評価(OPE)が重要である。一方、マッチング型推薦ではマッチ成立がスパースであるため、既存のOPE推定量は分散が大きく安定した評価が難しい。本研究では、マッチング構造を活用した新しいOPE推定量(DIPS/DPR)を提案し、実データ上で低分散かつ高精度な方策評価が可能であることを示した(RecSys 2025にて採択)。



テックブログ  
での解説



RecSys 2025  
採択論文



推薦の取り組みについての詳細はこちらのブログをご覧ください  
「なぜWantedlyに推薦システムが必要なのか」

